

東京都母体救命搬送システムの概要

東京都母体救命搬送システム

脳卒中や出血性ショックなど重症な疾患により緊急に母体救命処置を必要とする妊婦等が、近くの救急医療機関等で受入れが決まらない場合に、都内4か所の「スーパー総合周産期センター」が必ず受け入れることで、受入先の選定にかかる時間をできるだけ短縮し、迅速に診療を受けられるようにするシステム。

※ 本システムの対象となるのは、脳卒中や出血性ショックなど重症な疾患により、緊急に母体救命処置を必要とする妊産褥婦。（「母体救命搬送システム対象症例表」と

スーパー総合周産期センター

- ・昭和大学病院（品川区）
- ・日本赤十字社医療センター（渋谷区）
- ・日本大学医学部附属板橋病院（板橋区）
- ・都立多摩・小児総合医療センター（府中市）

転院搬送

一般通報

母体救命搬送システム対象症例表

以下の疾患等の妊産褥婦で、緊急に母体救命処置が必要なもの

1. 妊産褥婦の救急疾患合併

- ①脳血管障害
- ②急性心疾患(心不全,虚血性心疾患 等)
- ③呼吸不全(肺血栓塞栓症,肺水腫,重症気管支喘息等)
- ④重症感染症,敗血症性ショック
- ⑤重症外傷(交通外傷 等), 熱傷
- ⑥多臓器機能障害・不全(肝不全,腎不全,薬物中毒等)

2. 産科救急疾患(重症)

- ①羊水塞栓症
- ②子癇, 妊娠高血圧症候群重症型
- ③HELLP症候群, 急性妊娠脂肪肝
- ④出血性ショック(前置癒着胎盤,弛緩出血,重症産道損傷等)
- ⑤産科DIC(常位胎盤早期剥離等)

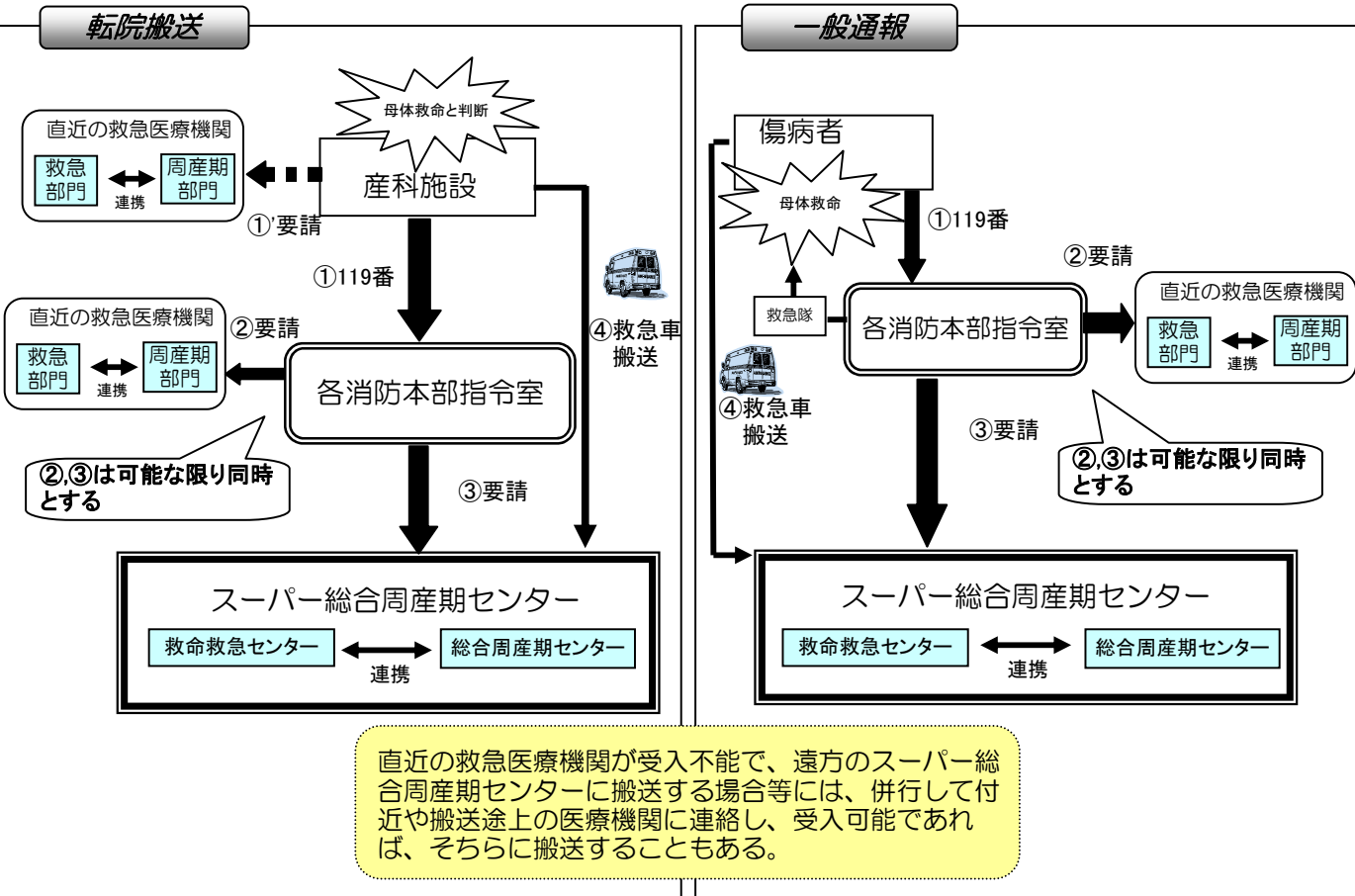
3. 重篤な症状(診断未確定)

- ①意識障害
 - ②痙攣発作
 - ③激しい頭痛
 - ④激しい胸痛
 - ⑤激しい腹痛
 - ⑥原因不明のバイタルサイン異常
- 以上を呈し重篤な疾患が疑われる症例

4. その他1～3に準ずるもので緊急に母体救命処置が必要なもの

※ 緊急に母体救命処置が必要な重症度の判断にあたっては、「疾病観察カード」を参考とする。

※ 対象は、妊娠初期から産褥入院期間までの患者



直近の救急医療機関が受入不能で、遠方のスーパー総合周産期センターに搬送する場合等には、併行して付近や搬送途上の医療機関に連絡し、受入可能であれば、そちらに搬送することもある。